



2024年2月12日

一般社団法人ディレクトフォース

事務局長 高橋宜治

企業ガバナンス部会長 平井隆一

DF 会員の皆様へ 第19クール第7回(3月度)月例セミナーへのお誘い

皆様こんにちは。私たち企業ガバナンス部会は、社外役員や顧問をされておられてさらなる高みを目指す方、自己研鑽して次のステップを追究する方などを対象に、レベルの高い講師陣をお招きして毎月セミナーを開催しております。

3月は第19クール第7回目のセミナーとなります。今回は昔からの銀塩フィルムがデジタル写真に急激に置き換わる中、將に存亡の危機に立った富士フィルムとコダックが如何にして明暗を分けたか、2014 年以來3冊の自著でこれらを明らかにしてきた元富士フィルム副社長の今井祐氏に講演していただきます。

第19クール第7回月例セミナーの開催要領

1. 日時： 3月12日(火) 14:00~16:00
2. 場所： ZOOM配信によるハイブリッド形式（DF事務所スタジオ751での参加は希望者先着5名様まで。ただし、ZOOM配信のみになる可能性もあります。）
3. 講演テーマ：「ダイナミックケイパビリティ論とは何か？」～富士フィルムの驚愕の变身とフィルムの巨人 KODAK の凋落～
4. 講師：今井 祐氏
5. 講演概要：
富士フィルムホールディングス(株)は、2000年代初頭に利益の過半を稼いでいた写真関連事業が、写真フィルムの需要急減により赤字に転落。襲い掛かる企業倒産の危機をはねのけヘルスケア等を中心とする事業構造に転換し、快進撃(昨年度過

去最高益更新・9期連続増配)を続けている。文字通りダイナミックケイパビリティ(DC)経営である。DC 経営とはカリフォルニア大学のデイヴィッド・J・ティース教授が提唱した経営戦略論である。企業が経営環境の変化に適応し、自社の事業や組織を変革する能力のことである。フィルムの巨人コダック社にはこれがなかった。何故か。

6. 講師略歴:

日本経営倫理学会常任理事兼企業化検討委員会委員長、プライベート・エクイティ・ファンド KSP アドバイザー委員会委員長、今井経済・経営研究所代表取締役社長、日本環境学会会員、日本コーポレートガバナンス・ネットワーク独立委員会委員、監査役懇話会会員、一橋大学商学部卒、元富士フィルム代表取締役副社長、元富士ゼロックス社外監査役、元 KKR Japan Limited Representative Director



講師: 今井 祐氏

7. 著書:今井祐(2014)『経営者支配とは何か』文眞堂、今井祐(2015)『実践コーポレートガバナンス・コード作成ハンドブック』文眞堂、今井祐(2016)『東芝事件と守りのガバナンス』文眞堂、今井祐(2021)『新コンプライアンス経営』文眞堂、『経営倫理入門～サステナビリティ経営を目指して』共著(2023)文眞堂

8. 録画:いつも通り講演内容は ZOOM 録画しますので、講演終了後にアンケート依頼とともに URL をお送りします。当日リアルタイムで受講できない場合でもご安心ください。

9. 申込・決済: 下記フォームよりお申込ください。

会費 DF 会員: 2,000 円 DF 非会員: 3,000 円



申込フォーム



*決済方法:コンビニ払い、ペイジー払い、クレジット払いの3種類となります。

*支払期限:セミナー前々日の3月10日(日)17時入金確認分までと致します。

*決済後のキャンセルはお受けできません。

*払込手数料乃至は取扱手数料が発生する場合には、恐縮ですがご負担ください。

*お問合せは下記アドレスへお願いします。

企業ガバナンス部会長 平井隆一 rhirai@directforce.org

以上